

あなたの学校でも使ってみませんか？

生徒用のID・パスワードの配付はお済みですか？ 電子図書館「おもしろe読書事典」

「いつでも」「どこでも」読書ができるよう、岡山県内の公立中学校の生徒だけが使える電子図書館です。自身のスマートフォン、タブレット、PC等で、『おもしろ読書事典』『もっとおもしろ読書事典』の掲載本を中心に青少年向けの電子書籍を読むことができます。

➔ 対象

県内公立中学校（中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。岡山市立の中学校を除く。）

➔ ページURL

<https://web.d-library.jp/r3omosiro>



➔ 利用料

無料（ただし、通信費は利用者の負担。）



『もっとおもしろ読書事典』図書セット貸出

『もっとおもしろ読書事典』の掲載本を図書セットにして、希望の県内中学校に貸出しを行っています。貸出期間中は、各学校図書館や教室での展示、生徒への貸出しなどに利用することができます。

➔ 対象

県内中学校（中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。岡山市立の中学校を除く。）

➔ 貸出期間

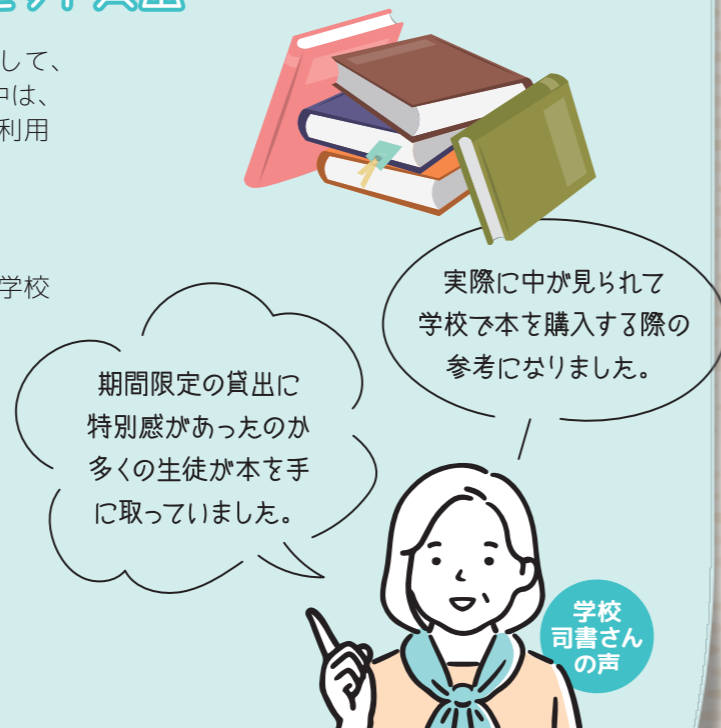
4週間から8週間まで

➔ セット内容

「青春のカタチ」等のテーマをまとめた全9セット（1セット約50冊）

➔ 費用

無料（配送料は、往復ともに県が負担。）



もっとおもしろ読書事典

活用のススメ



学校での読書活動に携わる皆様へ

『もっとおもしろ読書事典（中学生版）』は、教員、学校司書、公立図書館司書、読書ボランティアが作成委員となり、今を生きる子どもたちが本とどのように接しているのかを考えながら、中学生のリアルな感想も添えて、中学生におすすめの本を紹介しています。「同世代の友だちのおすすめなら読んでみようかな」「この話題、自分も気になっていたんだ」...など子どもたちをそんな思いにさせる冊子です。

中学生になると、子どもたちが読書から遠ざかってしまう傾向がありますが、2027年（令和3年）度、県教育委員会が行った調査では、普段本を読まない子も含めて、読書が好きな中学生が多いことが分かりました。本を読むきっかけは様々ですが、まずは、本を読んだら楽しいと思えることが大切ではないでしょうか。

『もっとおもしろ読書事典』を様々な形で活用し、各学校において、子どもたちの読書活動を支援していただきたいと思っております。

問合せ先 岡山県教育庁生涯学習課企画推進班

TEL: 086-226-7596 FAX: 086-224-2035

E-Mail: syogai@pref.okayama.lg.jp

おかやま どんどん読書



岡山県教育委員会

みんなどうやって使ってる？

実際に使った中学校に活用の様子を聞きました！

事例

01

中学生へ『もっとおもしろ読書事典』をブックガイドとして紹介

読んだことある本が載ってる！



この本面白そう。学校にあるといいなあ

『もっとおもしろ読書事典』の魅力って？

ワクワク素敵なブックガイド誕生！

ユニークで素敵なブックガイドです。中学生に的を絞って、定番の作品から新しく人気のある作品まで450冊以上も紹介されています。中学生たちと、子どもと本を愛する教員や司書、ボランティアの方と一緒に選書や紹介がされており、とても親しみを感じ、読みたくなります。書影もカラーで楽しく、「青春のカタチ」「冒険のカタチ」などテーマにも分けてあってわかりやすい！電子書籍になっているものは、「おもしろe読書事典」(岡山県教委のサイト)からスマホでも読むことができるとのこと。紹介された本を並べるとそれだけで素敵なヤングアダルトコーナーになります。活用しなけりゃもったいない!!

全国SLA学校図書館スーパーバイザー 高見 京子



事例

02

学校図書館で大活躍

『もっとおもしろ読書事典』のテーマを順番に展示で紹介しました。ポップは『もっとおもしろ読書事典』に掲載の県内中学生のメッセージを活用しています。同じ県内の中学生による感想は刺激になるようで、展示台の本は絶えずどれか借りられていました。

赤鷲市立高陽中学校



図書セット貸出とは...

県教育委員会が県内中学校を対象に行う本の貸出しサービス。『もっとおもしろ読書事典』の掲載本をほぼ全て集め、図書セットにして中学校へ届けます。

県教育委員会「この本、キミに届け！～中学生に贈るとっておきの本～」事業

「読んでみたいな」と思った本がどこにあるか分からないという生徒の声に応じて、『もっとおもしろ読書事典』本体に実物のラベルシールを貼り、どの本が自校の図書館にあり、図書館のどの場所にあるのか分かるようにしています。

図書セット貸出を利用し、中が見えないように2冊ずつラッピング、福袋として生徒へ貸出しました。福袋には中の本に関するキーワードを付け、生徒はそのキーワードだけを頼りに福袋を選びます。選ぶとき、封をあけると、本を読むとき、それぞれに楽しむ生徒の姿が見えました。



笠岡市立笠岡西中学校

事例

03

電子図書館「おもしろe読書事典」の利用に向けて...

電子図書館「おもしろe読書事典」の利用IDを書いた図書カードを作り、生徒へ配布しました。家での読書や、学校図書館が閉まっているときに使ってもらっています。電子図書館で見た本を、紙の本でも読みたいと、学校図書館へ来てくれた生徒がいました。

学校司書さんの声



「おもしろe読書事典」とは...

県教育委員会が運営する電子図書館サービス。『もっとおもしろ読書事典』の掲載本を中心に、青少年向けの電子書籍を1,200点以上読むことができます。県教育委員会「この本、キミに届け！～中学生に贈るとっておきの本～」事業



事例

04

掲載本が校内を巡回

テーマごとにブックトラックに本を乗せ、2週間交代で各階の多目的教室に設置しました。貸出用紙も設置し、気に入った本はその場で借りることができます。多目的教室での待ち時間に本を手にする生徒がいました。

瀬戸内市立長船中学校



事例

05

学級文庫に仲間入り

『もっとおもしろ読書事典』を学級文庫に設置しています。図書セット貸出で借りた本を学級文庫に置いて生徒が本をすぐ手に取れるようにしました。

学校司書さんの声

